

荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

設立趣旨

荒川中流部は、日本有数の広大な高水敷を有し、かつての荒川の蛇行形状と自然環境をとどめる旧流路跡や周辺の湿地等により、多種多様な動植物の生息環境を形成しています。その一方で、近年高水敷の乾燥化が進行し、湿地等が減少しつつあります。これらの状況を踏まえ、自然環境の保全・再生に向けた様々な取り組みが進められています。

また、一部地域においては、各主体が役割を分担し連携を図りながら、関東エコロジカル・ネットワークを更に広げていく取り組みが進められています。沿川自治体の中には、都市計画のマスタープラン等各種計画に、エコロジカル・ネットワークの形成や自然環境の保全が位置づけられています。

このことは即ち、私たちの生活を支える生態系サービスの維持・向上をもたらし、自然が有する多面的な機能を享受しうる地域の創造につながるものです。豊かな生態系の指標として、水辺生態系の高次消費者であるコウノトリ・トキを含む地域で注目される生物に着目し、多様な生物の生息可能な環境を保全・再生するとともに、環境と経済の調和を図った地域振興・経済活性化に取り組むことにより、広域連携による人と人の絆を深め、安全・安心できる地域の自立的な発展に貢献することが可能となります。

このため、関東エコロジカル・ネットワークの荒川流域エリアにおいて、多様な主体が協働・連携し、コウノトリ・トキを含む地域で注目される生物を指標とする、河川及び周辺地域における水辺環境の保全・再生方策を推進するとともに、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むことにより、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的とする「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」を設立します。